

# ひらんぽ



2016年度ひらかた防災学校 @サプリ村野

1/22  
(日)  
開催

## キッズ防災EXPO



各パビリオンを回る小学生。ごみ袋でできるポンチョ、ペットボトルを何本も背負えるリュックは2枚の風呂敷から、意外にあったかい新聞紙スリッパなど、大人も学びたいほど。体育館の隅では、「助けて!」と叫ぶ中学生のお姉さんに、「フライパンを叩くより聞こえた」と扉の向こうから小学生。無線機や懐中電灯でSOS体験、友だちと毛布にくるまったり、睡眠のことを学ぶ避難所体験、アルファ化米から作るわかれご飯など、夢中になると、突然、災害の緊急放送。「地震だあ」と言われ、みんなで防災ポーズ。

運動場にもいました、真面目な小学生たちが。道路の冠水を想定した泥水を棒で探りながら歩く体験、土のうを作り一輪車で運ぶ女の子、みんな、いざという時のために。チャレンジして10枚のアイテムカードがそろえば、胸に輝く「キッズ防災マスター」の缶バッジ。最後には雨模様の運動場で市長さんと人文字のハートを描いた。君たちのがんばりに拍手。(高橋 佳子)







2016年度 ひらかた防災学校

## キッズ防災EXPO



2016年度ひらかた防災学校は、小学生を対象に実施した「キッズ防災EXPO」。22の団体の協力のもと、16のパビリオンで防災に関する知識を学んだり、体験を行いました。当日は、ゲーム形式ながら、災害時に子どもだけでもできること、自分の命は自分で守るという「自助」について、大人が思っている以上に、しっかり考えながら取り組んでいる小学生に頼もしさを感じました。突然の雨などもありましたが、いろいろな状況の中でも冷静に行動していくことを学んだ一日になったようです。

災害ボランティアセンター  
設置・運営シミュレーション

枚方市社会福祉協議会が、毎年開催している「災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション」に参加しました。

阪神淡路大震災以降、必要不可欠となった災害ボランティア。災害時には、まず社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設します。この日は、ボランティアの希望者を受け付け、ボランティアをしてほしい人をつないで派遣し、戻ってくるまでをシミュレーションしました。

実際に大規模災害が起こった場合に備え、NPOの私たちは、何ができるのか、どう動くのかを考えていくきっかけとなりました。

1/27  
(金)  
開催1/15  
(日)  
開催

## 天の川とんど祭

冬の大会 寒波が訪れた日、イズミヤ裏の天津橋付近の河川敷で、天の川七夕まつりの会が中心となって開催している「第28回天の川とんど祭」に参加しました。

毎年、被災地支援活動の一環で、東北物産展を出店していますが、今年は、熊本の作業所の商品も販売。時折吹雪く中でしたが、多くの方に関心を寄せていただきました。

引き続き応援していきます。







「テロなどの不安は感じませんか？」  
不安があるからおもしろい。若い頃、シンガポールの友だちの所に泊まり、昼間一人で街を歩いたのが始まり。英語は、通勤途中のラジオ英会話でマスターしました。

「まず、この「ひらんぽ」に連載中の「イラストだより」、世界のいろいろな街にいかれていますね。」  
海外旅行は、私の一番の趣味ですね。海外は非日常の世界。ツアーでなく個人で行くので、今晩泊まれるか、それもわからない。でも宿が決まり、一夜あければ、もう自分の街という気がします。レストランや屋台で食べ、街の風を感じる。国内の旅では、この落差はないでしょう。

# 新にんげんウォッチング

「趣味に生き、合間にボランティア？」

ひらかた市民活動支援センター ボランティアスタッフ

向井 範雄さんに聞く

サラリーマン時代は、盆や正月休みしか行けなかったけれど、定年後は年に3〜4回、安い時期を狙えます。次に行けば50回目の海外旅行。30カ国くらい行きました。あと5〜6年、いや10年は海外へ行けるかな。

「イラストだより」の絵や文章も上手で、食べ物のおいまでしそ。

絵は今、佐藤一正先生の枚方教室に通っています。海外で絵になりそうな場所を写真にとり、帰ってから水彩画に描きます。毎年展覧会もあり、飾ってくれる所に貸し出しもします。文章は中蘭英助先生の同人誌に参加、毎年1〜2本、小説やエッセイを書いてきました。読売新聞のエッセイコンテスト優秀賞、朝日新聞の「男のひといき」にも掲載されました。料理も好きなんです。金沢に5年くらい単身赴任したので、家事もひと通り大丈夫です。

「向井さんといえば、多趣味、多資格で有名ですが。」

資格は、総合旅行業務取扱管理者、ファイナンシャルプランナー、

宅地建物取引主任者、マンション管理業務主任者など6つ。

55歳頃、大手の印刷会社から子会社へ出向したことで人生観が変わりました。

会社の看板をあてにせず、勉強して自分に力をつけようと、短期でとれる資格を狙い、全部一度の受験で合格しました。

そして60歳で定年。

定年後は、もうお金をもらう仕事はしない、趣味に生きようと決心。仕事をしていたら、海外旅行のために、10日程休みくださいとは言えませんか。

「NALC(ナルク・Nippon Active Life Club)でも活動中とか。」

NALCは設立23年、全国に122拠点を持ち、会員約2万人という、一大ボランティア組織。定年後、ひらかた市民活動支援センターで紹介されて、NALCの枚方拠点「天の川クラブ」の事務局で広報誌の編集などを行っています。NALCは「時間預託」活動が中心ですが、文化・スポーツ活動もあり、私は英会話、オカリナ、フォークバンドなどのグループに所属。それ以外に太極拳、口笛、そば打ち、社交ダンスなど、習いごとは8つ。



「本当にすごい好奇心旺盛ですね。ちよつと変わっている人とよくいわれます。趣味の合間にボランティア。私としては理想通りで充実しています。でもこの価値観が、皆に通用するとは思わない。人それぞれだから、できることを、できるときに、できる方法でやればいい。何でもかんでもやってみて、だめならやめたいと思います。枚方には20年住んでいます。趣味やボランティアにウエイトをおけるいい街ですよ。」

向井さんとはここ数年来、ひらせんのボランティア仲間。NALCの会報誌「天の川」編集は大変そうに見えるのに、この多趣味、知力・体力・気力の充実に恐れ入ります。(文・高橋 佳子)





# サブリ村野学校

10/14・21(金)【基礎編】  
11/4・11(金)【実践編】  
全4回開催

## 寄付と支援者を増やす

## コツとポイント



NPOや  
市民活動団  
体にとって、  
活動を応援し  
てくれる仲間や支援  
者を増やすことは重要ですが、な  
かなか難しいのが現実。特に寄付  
集めなど資金調達には苦労したり、  
抵抗がある場合も多い。そんな現  
状を踏まえて、「寄付と支援者を  
増やすコツとポイント」と題して、  
全4回にわたり開催しました。

講師は、NPO組織基盤強化コ  
ンサルタントでoffice mu  
sublime(オフィス・ムスビメ)  
の代表を務める河合将生さん。N  
PO団体に寄り添う伴走者として、  
多数の団体の組織・事業の立ち上  
げ支援や組織診断、マネジメント  
支援、ファンドレイジング支援、  
プロジェクト運営・ファシリテー  
ションの支援など、多くの実績を  
積んで来られたプロフェッショナル  
です。

講座では、受講者自身がワーク  
シートに書き込みながら、自団体  
のミッションと目標の明確化、強  
みや弱みなどの組織診断、ファン



ドレイジングの全体像と計画の立  
て方などを講師が解説。高度に思  
える内容を初めての人でも理解で  
きるよう工夫された講座でした。  
受講者からは「ファンドレイジ  
ングの全体像がよく理解できた」  
「目標達成のための優先順位が明  
確になった」「2時間×4回のハ  
ードな講座でしたが、とてもわか  
りやすく、ファンドレイジングに  
挑戦する意欲が増した」などの感  
想が寄せられ、大変好評でした。

5/20(金)  
11/25(金)  
開催

## NPOを学ぶ講座

そもそもNPOってなに？という初歩的な内容  
から、NPO法人のメリット・デメリット、NPO  
法人格を取得するには？他の法人格との違いなど幅広く学ぶ  
講座として、今年度は2回開催しました。  
講師は、ひらかた市民活動支援センター理事で、のあつく



自然学校代表の高井啓大郎さ  
ん。高井さんは大学院や海外  
でNPOについて研究し、N  
PO法人やその他法人を設立  
・運営をしておられます。  
そのため講座は、とても実  
践的な内容で、受講者からの  
質問に対して、豊富な経験に  
基づいた的確な回答が好評で  
す。受講者からは「疑問だっ  
た点が理解できた」「具体例  
を交えた解説が、大変わかり  
やすかった」などといった声  
が多かったです。

2016年度より、より多くの講座・体験授業を市民に通年で  
提供する形で実施してきた「サブリ村野学校」。今年度は、14団  
体が、26講座開催し、のべ約400人以上の参加がありました。  
ひらかた市民活動支援センターとしては、「NPOを学ぶ講座」  
「寄付と支援者を増やすコツとポイント」「伝わるチラシ入門」  
など、団体の運営に必要な講座等を開催しました。また、「ビッ  
グイシューを読もう」や「みんなの防災」など、自分の町のこと  
を考えるきっかけになる講座も企画しました。  
次年度も、サブリ村野を会場に、さまざまな講座を開催してい  
きます。詳しくは広報ひらかたをご覧ください。また、講座を実  
施したい団体も募集しています。(電話072・805・3537)



# サプリ村野学校



市民活動のイベントや行事を宣伝するためには、目を引き中身を伝えるチラシがとても重要です。この講座では、チラシの文面やデザイン・レイアウトのポイントと、ワードで作るときのコツを学びました。

講師は、編集ラボ・ハンドレツド代表の百瀬真友美さん。16人の受講者は、事前に自作のチラシを講師に提出。当日は、順番に受講者のチラシを皆で見ながら、どこをどういう方法を用いて変えれば、より伝わりやすいチラシになるかを具体的にアドバイスをしてもらいました。



受講者からは「ワードの便利な使い方や裏技を沢山知ることができた」「伝わりやすいレイアウトなどの声が寄せられました」

11/24  
(木)  
開催

## イベント・行事をPR! 伝わるチラシ作り入門



第7回は、有会社ビッグイシュー日本さんが、「ビッグイシュー」について、新たな視点！社会貢献事業で企業が伸びる！というテーマで、ゲストに、リタワークス株式会社取締役の中嶋秀樹さんをお迎えし、トークセッションなど行いました。

第6回は、『企業とNPOのコラボを探る：新たな視点！社会貢献事業で企業が伸びる！』というテーマで、ゲストに、リタワークス株式会社取締役の中嶋秀樹さんをお迎えし、トークセッションなど行いました。



第6回  
第7回

## ひまプロ本会議

ひらかたまちづくりプロジェクト、略して「ひまプロ」。

地域社会の課題や情報の共有、マッチングの場として、2016年度は、7月12日に第6回、12月6日に第7回の「ひまプロ本会議」を開催しました。

第6回は、『企業とNPOのコラボを探る：新たな視点！社会貢献事業で企業が伸びる！』というテーマで、ゲストに、リタワークス株式会社取締役の中嶋秀樹さんをお迎えし、トークセッションなど行いました。

第7回は、有会社ビッグイシュー日本さんが、「ビッグイシュー」について、新たな視点！社会貢献事業で企業が伸びる！というテーマで、ゲストに、リタワークス株式会社取締役の中嶋秀樹さんをお迎えし、トークセッションなど行いました。

つて、ご存知ですか?、牧野さくら会カフェレスト風鈴火山さんが、「子どもは地域の宝物 安心できる居場所づくりを」、牧野校区コミュニティ協議会青少年部会さんが、「学校では学べないこと！地域コミュニティとの関わり」について、プレゼンを行いました。





# ひらかたNPOフェスタ2017 開催!

2017年 **10月1日(日)** 岡東中央公園・枚方市市民会館ほか

## FMひらかた「みんなのNPOサロン」終了

長い間、ありがとうございました



- ★2003.4 第1回 放送スタート  
「わが町のNPO」「Q&A」「枚方物語」  
2004.4～第54回から  
「見たい!聞きたい!これが知りたい!」が  
スタート
- 2017.3 第730回 放送終了
- ★出演団体: のべ395団体
- ★出演ゲスト: のべ1261人

バックナンバーは、下記のアドレスから聞けます!  
<http://hirakatanpo-c.net/support/nposalon>

長きにわたって放送してきた「みんなのNPOサロン」。2017年3月で終了することになりました。第1回目は、理事長と副理事長の2人で始めた放送も、13年間で、32人のボランティアパーソナリティに支えられてきました。パーソナリティを務めた皆さんの中には、いろんなイベントなどで呼ばれるまでになった方もいます。団体の皆さんは、FM出演をきっかけに、自身の団体を見直したりして、ラジオ出演を楽しんでいただきました。当初は、NPOを広めたいという思いで始めましたが、それ以上に素敵な方たちとの出会いが大きな財産となりました。またどこかでお会いできる日を楽しみに。



## 2016年度 活躍のボランティアスタッフ

さまざまな事業やイベントで支えてくれた皆さん!  
2017年度も、どうぞよろしくお願いしますm(\_ \_)m

生熊一登、上田ころ、上原一恵、恵阪聖子  
大江真奈美、岡谷幸子、小田にしを、川上一富實  
川越あゆみ、岸上純也、熊澤力、郷田登樹子  
斉藤操、酒井惇子、酒井桂、白石周一、高橋佳子  
高德理枝子、田之上來実、鳥居玲子、野上久江  
久田憲司、本間和代、宮岡真紀、宮崎ひとみ  
宮富静子、向井範雄、室地咲季、元村心春  
山中忠次、吉田正男、鷺山秀子、和田美枝子

(50音順・敬称略)

## 編集後記

今年度も慌ただしく過ぎていきましたが、ひらかた市民活動支援センターも、今年で14年目を迎えます。NPOなどの団体支援に関わらず、市民活動に関するさまざまな相談や、事業に取り組んでできましたが、初心に戻って、学びなおしていくことの大切さを感じました。(編集者・S)

### 【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター  
〒573-0042  
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内  
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532  
Eメール: [info@hirakatanpo-c.net](mailto:info@hirakatanpo-c.net)  
<http://www.hirakatanpo-c.net/>

## イラストだより



ナポリのホテルに1週間ほど滞在して、カプリ島、ポンペイ、アマルフィ海岸などを日帰りで訪れました。中でもアマルフィ海岸は世界で最も美しい海岸のひとつと言われ、私も絵を描きたいと憧れていた場所です。勇んでソレントからバスに乗り込んだのはよかったのですが、バスは絶壁の上にある曲がりくねった細い道を猛スピードで飛ばします。まるでジェットコースターに乗っているようで、高所恐怖症の私は生きた心地がしませんでした。

無事にナポリに帰りついて、ほっと一息ついて飲んだビールの美味しかったこと!という訳で、このイラストはカプリ島です(笑)。

(イラスト・文/向井 範雄)